

宝の街をブラッシュアップ～物語を紡ぎ若者目線で実現する呉の回遊促進～

呉工業高等専門学校 環境市工学科4年 小川 連太郎、雪丸 秀真

機械工学科4年 森田 拓馬 他53名

(指導教員 神田 佑亮、木原 滋哉)

[1]展望台リノベーションプロジェクト

情報発信地としての場を整備するために展望台の改装

① インテリアづくり

展望台の一角を呉市の特色を活かした空間に改装→試作品完成、年度末に向けて仕上げ

② 時計づくり

故障して稼働していない時計の機能を代替する、手作りの時計を設置

→完成、12月に設置済み

③ カウンター作り

ゆったり落ち着ける空間整備の一環として、窓側付近にカウンターを設置。

→構造検討・試作品作成済み。実設置に向けて課題があり、対応策を検討中。次年度引き続き実施

[2]プレイロットの機能向上のための可能性調査

ターミナル内のプレイロット（キッズルーム）の機能向上のための利用実態調査と、改善策の提案

→アンケート調査およびヒアリング調査を実施。管理者として、呉市(港湾漁港課)にヒアリング。検討成果を呉市に提案(2019年2月)。提案に基づき呉市が一部改修予定。

[3]新たな資源発掘(「呉の物語を紡ぐ」プロジェクト)

(1) 昨年度制作したマップ、HPの修正、完成

①マップ「タイムトラベル・マップ in 呉」(昨年度末に完成)

昔の絵葉書と現在の写真を並べる

現在の地図上に昔の絵葉書を配置→昔の呉を想像しながら市街地を回遊する

HP「タイムトラベル・ギャラリー in 呉」を参照できる ← マップでは限られた情報

②HP「タイムトラベル・ギャラリー in 呉」(今年度修正、完成)

好評：現在の光景（現在写真）と昔の光景（昔の絵葉書）を比べることができる

課題：スマホ上の地図アプリとの連動（当初は未完成だった）

Google マップで絵葉書の位置と場所を結び付けた → ようやく完成！！

(2) マップ「タイムトラベル・マップ in 呉」の活用

①計画変更

当初計画：観光客に配布+小中学校に配布し、地域学習に活用してもらう

→ 計画変更：小中学生はスマホを利用することができない

計画変更：観光客に配布、地図とスマホを片手に、呉市街地を回遊してもらう

② **配布と反響** (HP「タイムトラベル・ギャラリーin 呉」完成後に配布開始)

呉観光協会、呉市観光振興課にお願いして、これまでに4000枚を配布

呉観光協会を通じて、広島駅、大阪、東京でも配布

呉市観光振興課を通じて、呉観光情報プラザで配布

呉観光協会のHPに掲載 → ネット上でも反響

観光情報誌 BUSPORT 3月号 (発行部数5万部) で取り上げられる (予定)

(3) **新しい試み**

① **マップ「タイムトラベル・マップin 呉」の改訂版作成**

呉市観光マップの定番に！！

文字や地図を見やすく、地味な色合いを変更、掲載情報を精査

② **HP「モダン都市・呉の絵葉書」**

呉中心市街地を含む呉市全体の名所などの絵葉書を網羅する

御手洗、音戸、倉橋、江田島、川尻などの昔の絵葉書も

Google、Yahoo で検索可能に (「モダン都市 呉」で)

呉の絵葉書としては、(世界で?) 最も充実した内容と数量

広島県文書館収蔵絵葉書、絵葉書資料館 (神戸市) と比べて

③ **絵葉書復刻版の発行 (予定)**

マップを手にした観光客からの要望に応える

中心市街地、周辺観光地の絵葉書を復刻して、配布

[4] **広報**

呉市で最も観光客の来場者数が多い大和ミュージアムや海上自衛隊資料館と場所が近いことを利用し、それらの人たちを呉中央棧橋ターミナルに呼び込み、様々なエリアに向かわせるような情報発信を実施

① **SNS での情報発信**

Twitter アカウントを開設。→豪雨災害時に災害情報・支援情報・交通情報を積極発信。120万PVを集める。災害を機に SNS アカウントをフォローした方が、実際に展望台を訪れる回遊促進効果も生まれる。

② **パンフレットの作成**

展望台をPRするパンフレットを作成。→原稿完成。現在印刷中

③ **雨あがれプロジェクトとの連動**

復興支援のための地域情報発信プロジェクト「雨あがれ PROJECT」と連携。
→高専祭で急遽PRブースを設け、地域情報の収集と発信を行う。